

# データヘルス計画 第3期計画書

---

最終更新日：令和6年03月05日

宮地健康保険組合

## STEP 1-1 基本情報

組合コード	25213
組合名称	宮地健康保険組合
形態	単一
業種	金属工業

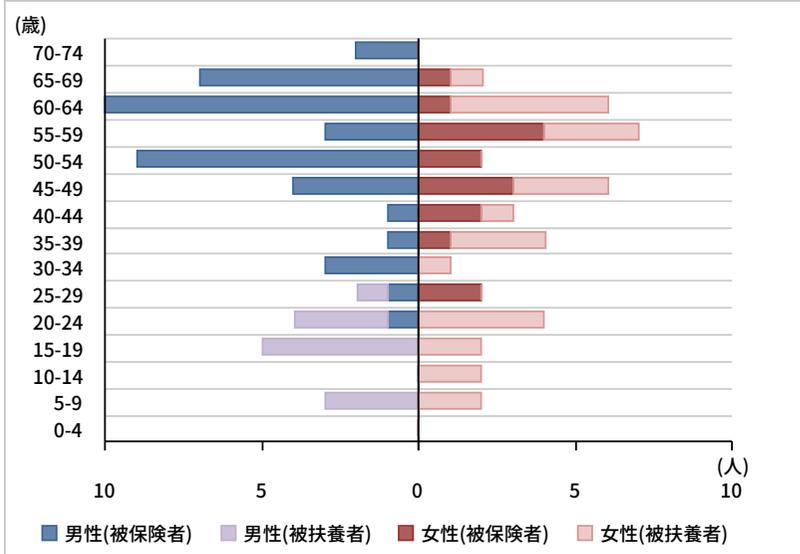
	令和6年度見込み	令和7年度見込み	令和8年度見込み
被保険者数 * 平均年齢は 特例退職被保 険者を除く	60名 男性73.3% (平均年齢54.43歳) * 女性26.7% (平均年齢48.65歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *	-名 男性-% (平均年齢-歳) * 女性-% (平均年齢-歳) *
特例退職被保 険者数	0名	-名	-名
加入者数	101名	-名	-名
適用事業所数	2カ所	-カ所	-カ所
対象となる拠 点 数	2カ所	-カ所	-カ所
保険料率 *調整を含む	85.0% <sub>00</sub>	-% <sub>00</sub>	-% <sub>00</sub>

		健康保険組合と事業主側の医療専門職					
		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)	常勤(人)	非常勤(人)
健保組合	顧問医	0	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-
事業主	産業医	1	0	-	-	-	-
	保健師等	0	0	-	-	-	-

		第3期における基礎数値 (令和4年度の実績値)	
特定健康診査実施率 (特定健康診査実施者数 ÷ 特定健康診査対象者数)	全体	40 / 55 = 72.7 %	
	被保険者	39 / 45 = 86.7 %	
	被扶養者	1 / 10 = 10.0 %	
特定保健指導実施率 (特定保健指導実施者数 ÷ 特定保健指導対象者数)	全体	1 / 5 = 20.0 %	
	被保険者	1 / 5 = 20.0 %	
	被扶養者	0 / 1 = 0.0 %	

		令和6年度見込み		令和7年度見込み		令和8年度見込み	
		予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)	予算額(千円)	被保険者一人 当たり金額 (円)
保健事業費	特定健康診査事業費	89	1,483	-	-	-	-
	特定保健指導事業費	162	2,700	-	-	-	-
	保健指導宣伝費	36	600	-	-	-	-
	疾病予防費	1,605	26,750	-	-	-	-
	体育奨励費	1	17	-	-	-	-
	直営保養所費	0	0	-	-	-	-
	その他	0	0	-	-	-	-
	小計 …a	1,893	31,550	0	-	0	-
経常支出合計 …b	55,422	923,700	-	-	-	-	
a/b×100 (%)	3.42		-	-	-	-	

令和6年度見込み



令和7年度見込み



令和8年度見込み



## 男性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	1人	25～29	1人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	3人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	4人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	9人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	10人	65～69	7人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	2人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被保険者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	0人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	0人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	0人	25～29	2人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	0人	35～39	1人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	2人	45～49	3人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	2人	55～59	4人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	1人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

## 男性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	3人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	0人	15～19	5人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	3人	25～29	1人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	0人	35～39	0人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	0人	45～49	0人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	0人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	0人	65～69	0人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

## 女性（被扶養者）

令和6年度見込み				令和7年度見込み				令和8年度見込み			
0～4	0人	5～9	2人	0～4	-人	5～9	-人	0～4	-人	5～9	-人
10～14	2人	15～19	2人	10～14	-人	15～19	-人	10～14	-人	15～19	-人
20～24	4人	25～29	0人	20～24	-人	25～29	-人	20～24	-人	25～29	-人
30～34	1人	35～39	3人	30～34	-人	35～39	-人	30～34	-人	35～39	-人
40～44	1人	45～49	3人	40～44	-人	45～49	-人	40～44	-人	45～49	-人
50～54	0人	55～59	3人	50～54	-人	55～59	-人	50～54	-人	55～59	-人
60～64	5人	65～69	1人	60～64	-人	65～69	-人	60～64	-人	65～69	-人
70～74	0人			70～74	-人			70～74	-人		

### 基本情報から見える特徴

被保険者の平均年齢が高い。  
40歳未満の若年層が少ない。

※特定保健指導実施率（令和4年度実施率）における被扶養者対象者は0人が正しい。システム上0人では入力不可との事なので1人で入力している。

## STEP 1 - 2 保健事業の実施状況

### 保健事業の整理から見える特徴

従業員の健康づくりのため、毎日、朝・昼ラジオ体操を実施している。  
特定健康診査実施率（被扶養者）は低いので、受診勧奨が必要である。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

予算措置なし	ラジオ体操
--------	-------

#### 加入者への意識づけ

#### 個別の事業

特定保健指導事業	特定保健指導
保健指導宣伝	医療費通知
疾病予防	特定健康診査
疾病予防	生活習慣予防検診
疾病予防	人間ドック
疾病予防	インフルエンザ予防
疾病予防	家庭救急常備薬
直営保養所	契約保養所の利用

#### 事業主の取組

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	事業名	事業目標	対象者				事業費(千円)	振り返り			注2) 評価
				対象事業所	性別	年齢	対象者		実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
職場環境の整備												
予算措置なし	2	ラジオ体操	毎日、朝8:25～・昼12:55～実施	全て	男女	20～74	被保険者	0	毎日、朝・昼実施	事業主が主体で健康づくりの一環として実施	なし	5
加入者への意識づけ												
個別の事業												
特定保健指導事業	4	特定保健指導	メタボリックシンドローム該当者の減少	全て	男女	40～74	基準該当者	6	毎年12月～3月実施 動機付け支援2名実施	特定検診の結果を踏まえ、健保連千葉と協力し指導	特になし	5
保健指導宣伝	2	医療費通知	受診状況の確認、医療費適正化	全て	男女	0～74	基準該当者	5	年4回実施 医療機関受診者に医療費の事態を毎月通知	自宅へ送付または手渡し	なし	5
疾病予防	3	特定健康診査	健康状態の把握	全て	男女	40～74	基準該当者	387	実施期間：7月～3月	事業主健診とあわせて実施	受診者の固定化	4
	3	生活習慣予防検診	病気の早期発見	全て	男女	30～74	基準該当者	354	毎年10月	事業主より健康診断受診書類の配布 健診日時封書の上記に記載あり 被保険者の意識付け 事業所にて受診	なし	4
	3	人間ドック	病気の早期発見	全て	男女	35～74	基準該当者	725	通年実施 対象は35歳以上の希望者	事業主より回覧 (人間ドックの希望者は事業主に報告) 名実施	毎年受診者が固定化 被扶養者の利用がない	5
	3	インフルエンザ予防	インフルエンザ予防	全て	男女	0～74	加入者全員	152	11月	事業所で集団接種 医療機関で個々に接種も可	なし	5
	8	家庭救急常備薬	疾病予防	全て	男女	20～74	被保険者	153	毎年1回実施	常備薬の申込書を配布し、被保険者が常備薬を選択。上限3千円までを健保が補助。	なし	5
直営保養所	8	契約保養所の利用	健康増進、リフレッシュ	全て	男女	0～(上限なし)	基準該当者	21	たびゲーター利用 通年利用可能	ネットで予約可能	なし	5

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業

注2) 1. 39%以下 2. 40%以上 3. 60%以上 4. 80%以上 5. 100%

事業名	事業の目的および概要	対象者			振り返り			共同 実施
		資格	性別	年齢	実施状況・時期	成功・推進要因	課題及び阻害要因	
事業主の取組								

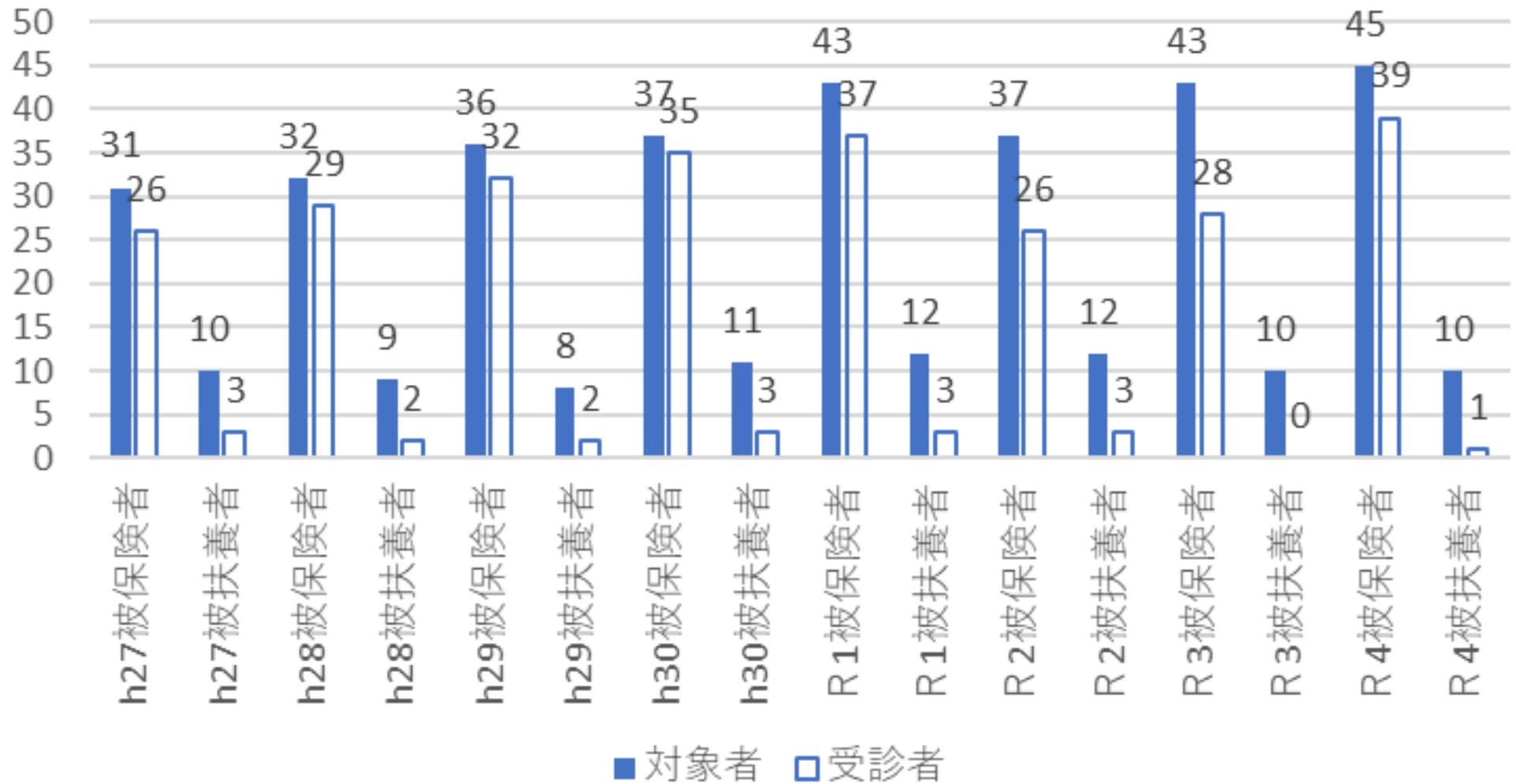
# STEP 1-3 基本分析

## 登録済みファイル一覧

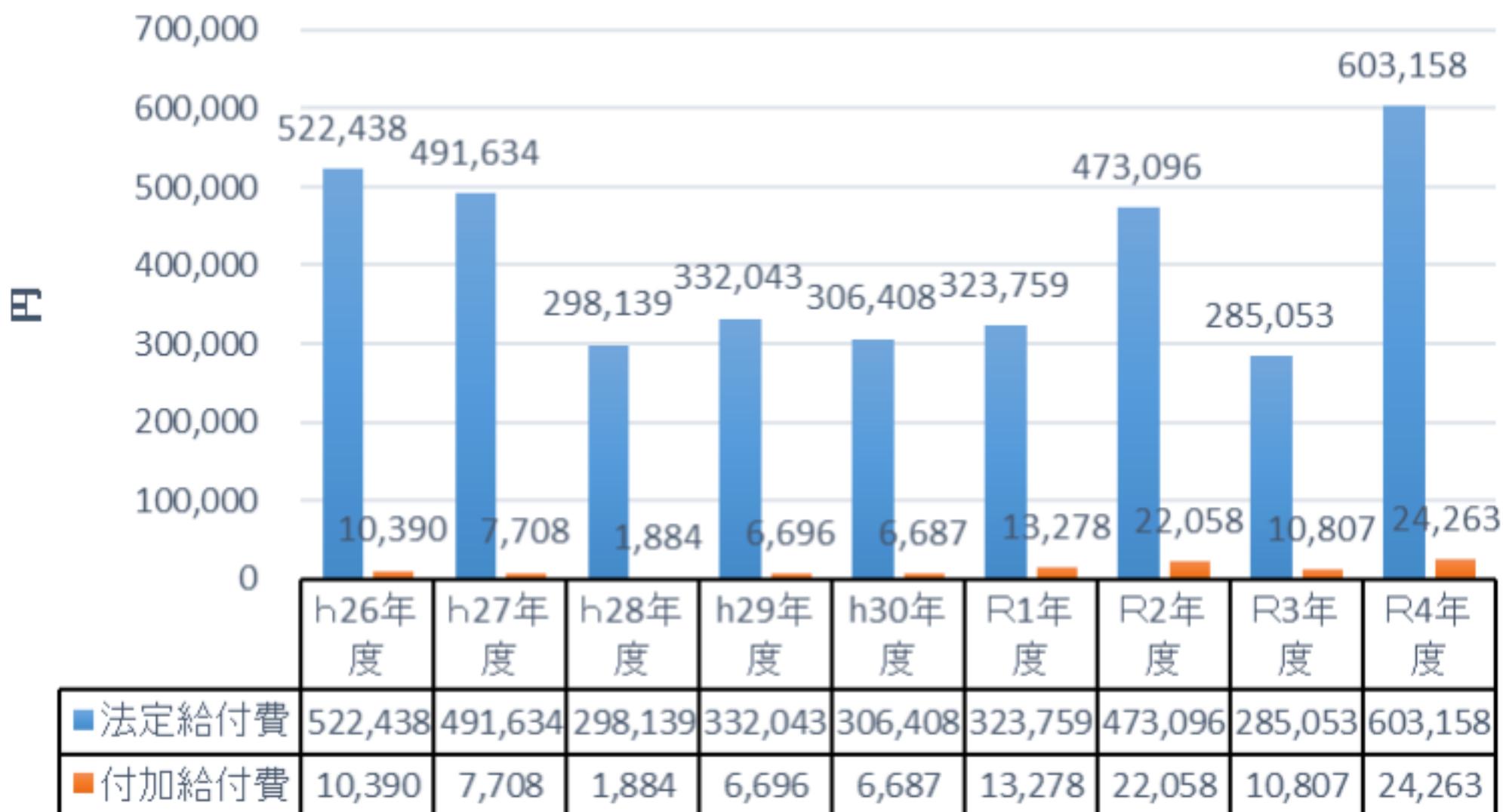
記号	ファイル画像	タイトル	カテゴリ	コメント
ア		特定健康診査受診率	特定健診分析	目標である受診率90%達成には、被保険者の受診率を100%を達成目標とし、被扶養者の受診率向上をするには、受診勧奨の方法など、さらなる工夫が必要。
イ		一人当たり法定給付費、付加給付費	医療費・患者数分析	コロナウイルス感染症による受診控えの影響もあり、令和4年度は医療費増加。当組合の場合、1人が大きな疾病にかかるると一人当たりの医療費が急激に増加する。
ウ		一人当たり療養費 直近比較	健康リスク分析	近年では、循環器系、呼吸器系の疾病が伸びている。
エ		19分類別 2022年度受診者数	健康リスク分析	-
オ		19分類別 一人当たり医療費全組合比較	医療費・患者数分析	全組合と比較しても、一人当たりの医療費は全体的に高い。
カ		特定保健指導実施率	特定保健指導分析	特定保健指導実施率が低く、対象者全員が実施できるよう外部業者などと契約したい。

<p>キ</p>		<p>生活習慣病リスク保持者割合</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>全国と比べても、生活習慣病リスク保持者割合が高い。</p>
<p>ク</p>		<p>生活習慣病リスク各項目</p>	<p>健康リスク分析</p>	<p>運動の習慣がなく、睡眠に問題を抱えている方が多い。喫煙習慣も多い。</p>

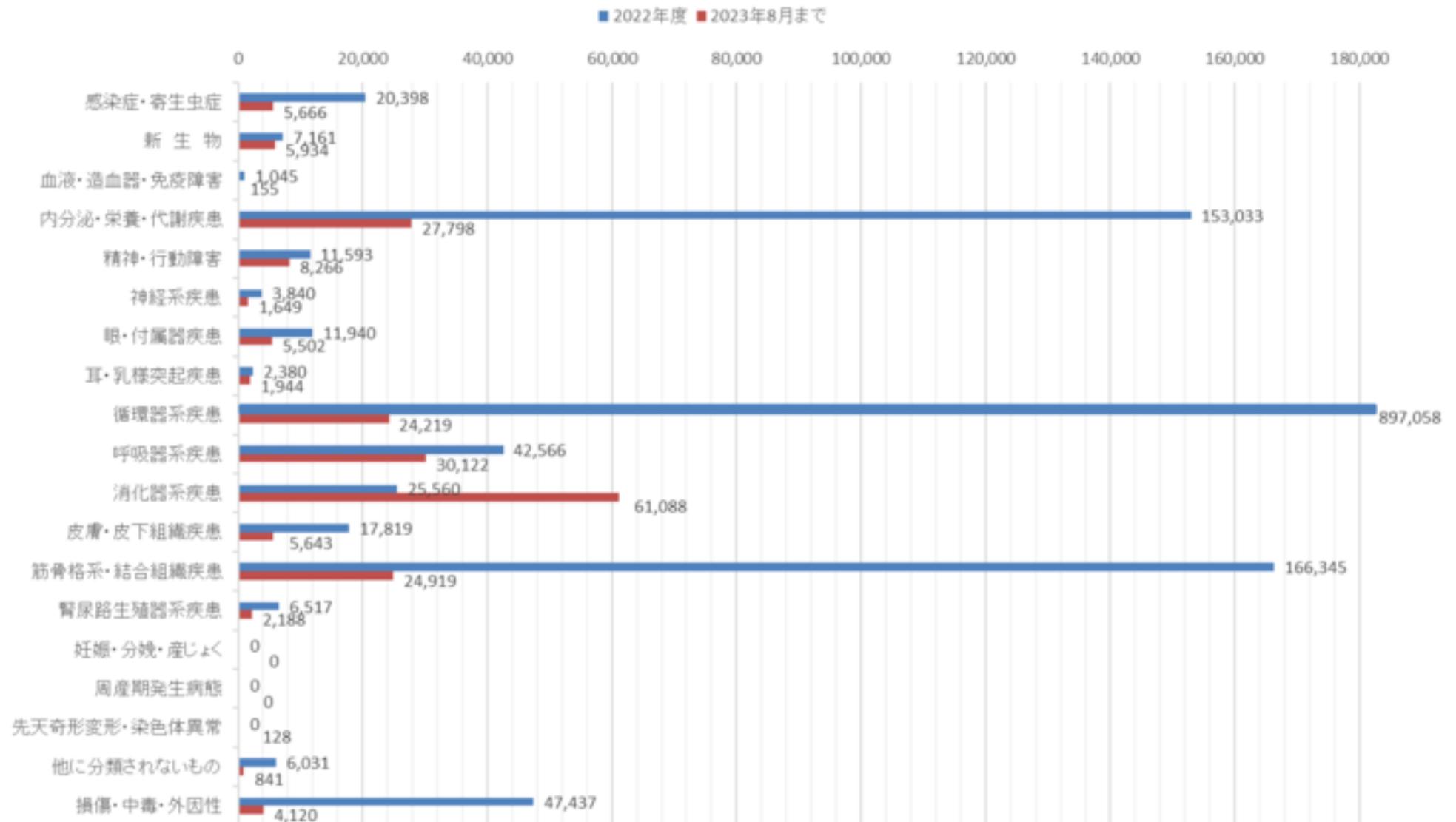
## 特定健診実施状況（人数）



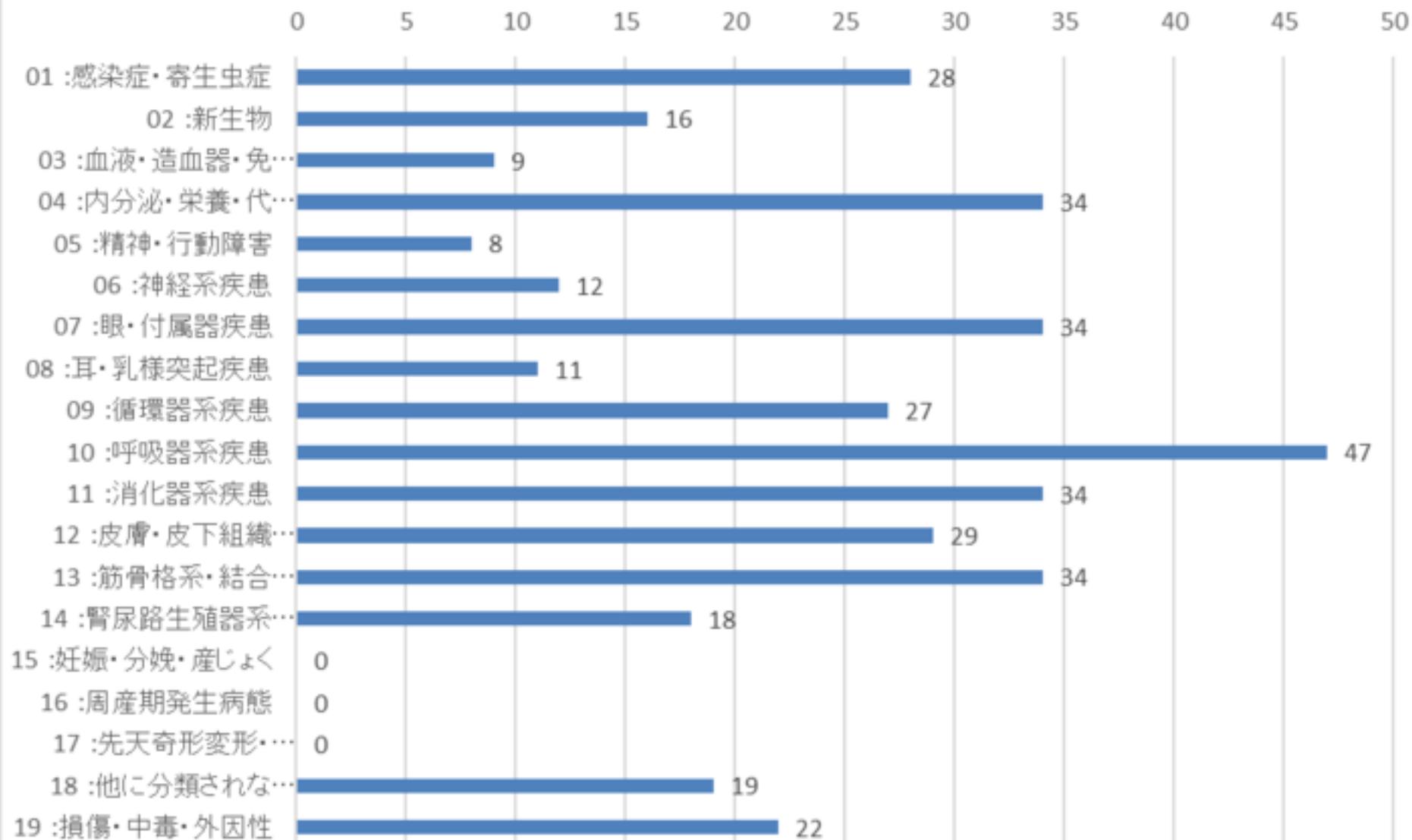
## 被保険者一人あたり医療費の推移



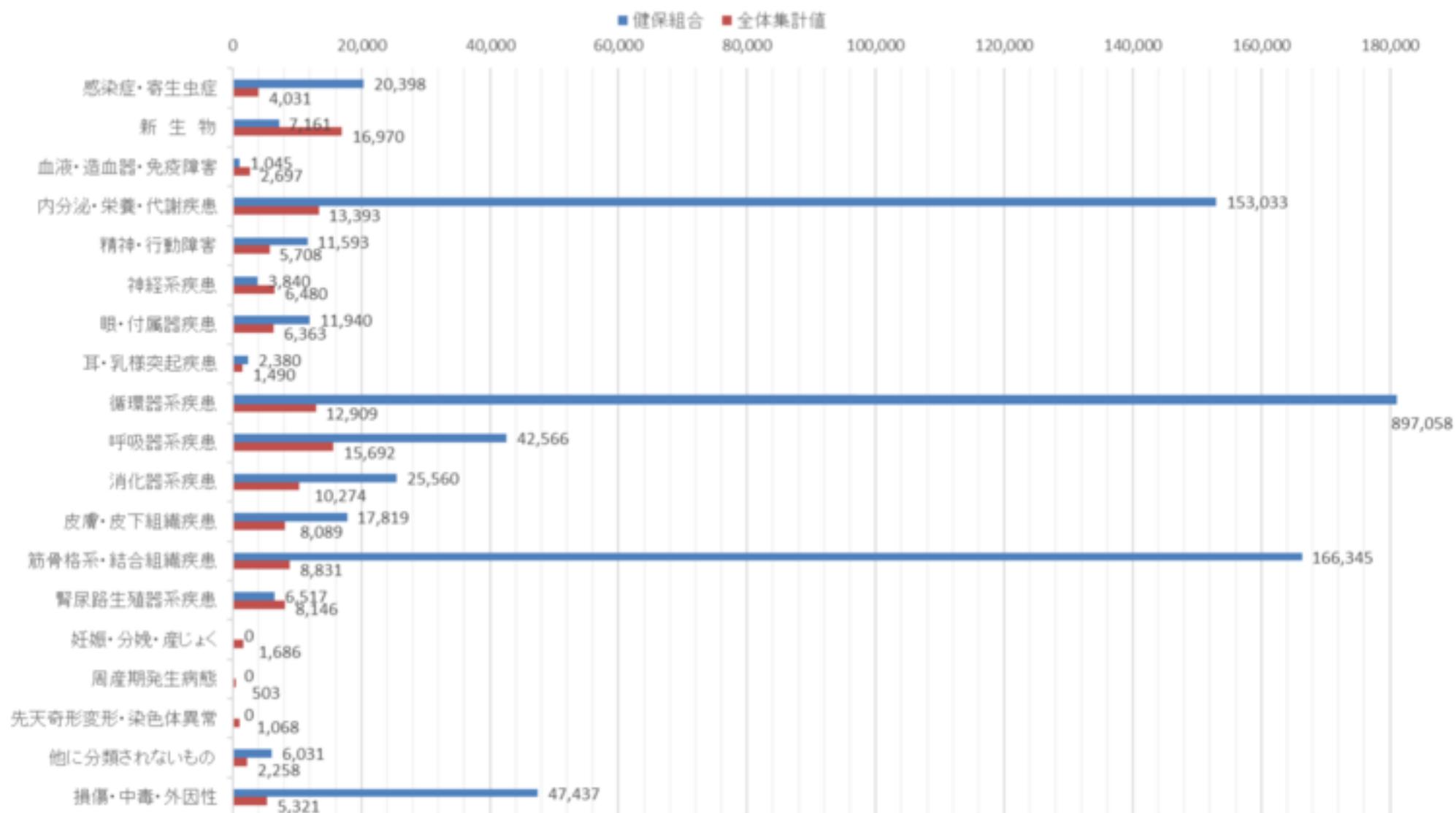
## 宮地健康保険組合 比較 (19分類名) 1人当たり医療費(円)



## 2022年度 (19分類名)受診者数(人)



## 2022年度 全組合比較 (19分類名) 1人当たり医療費(円)



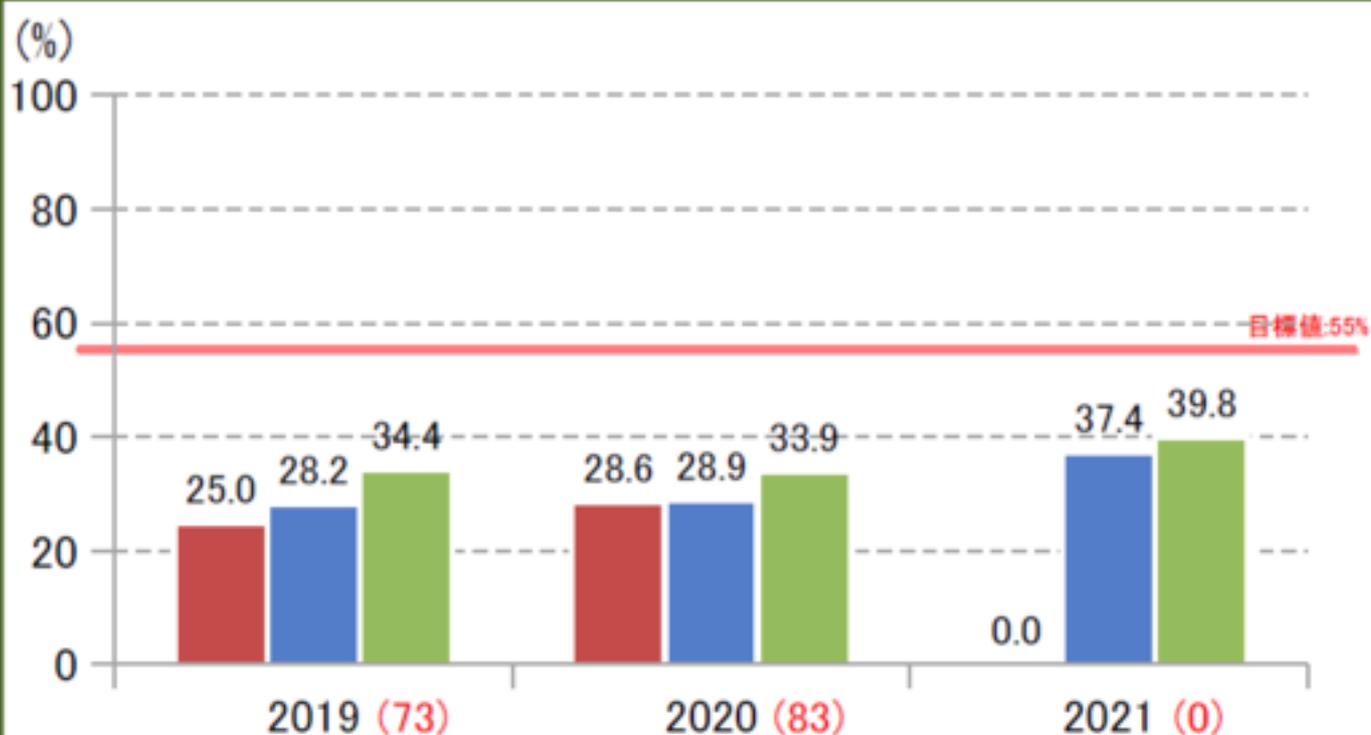
単一	組合順位	1,094位 / 1,127組合
全組合順位		1,337位 / 1,380組合

### 特定保健指導の実施率



1ランクUPまで (\*1)

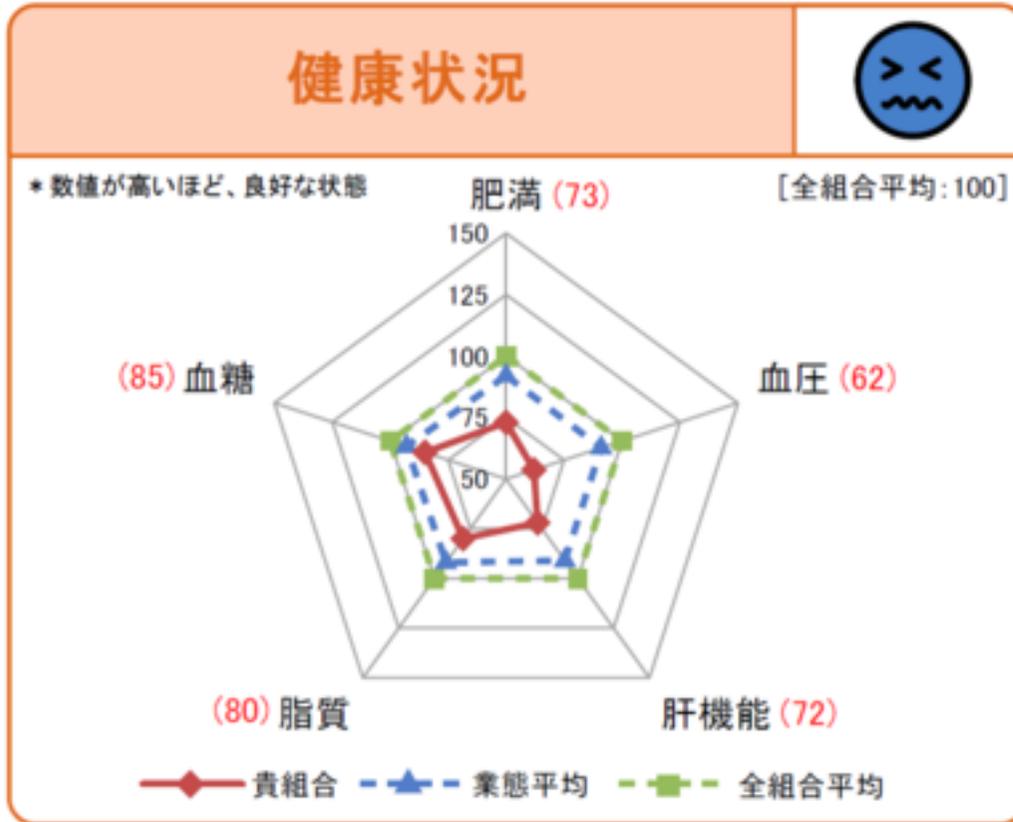
あと1人



特定保健指導の実施率	2019	2020	2021
貴組合	25.0%	28.6%	0.0%
	626位 / 1,113組合	561位 / 1,126組合	1,115位 / 1,127組合
業態平均	28.2%	28.9%	37.4%
単一組合平均	34.4%	33.9%	39.8%

■ 貴組合 ■ 業態平均 ■ 単一組合平均

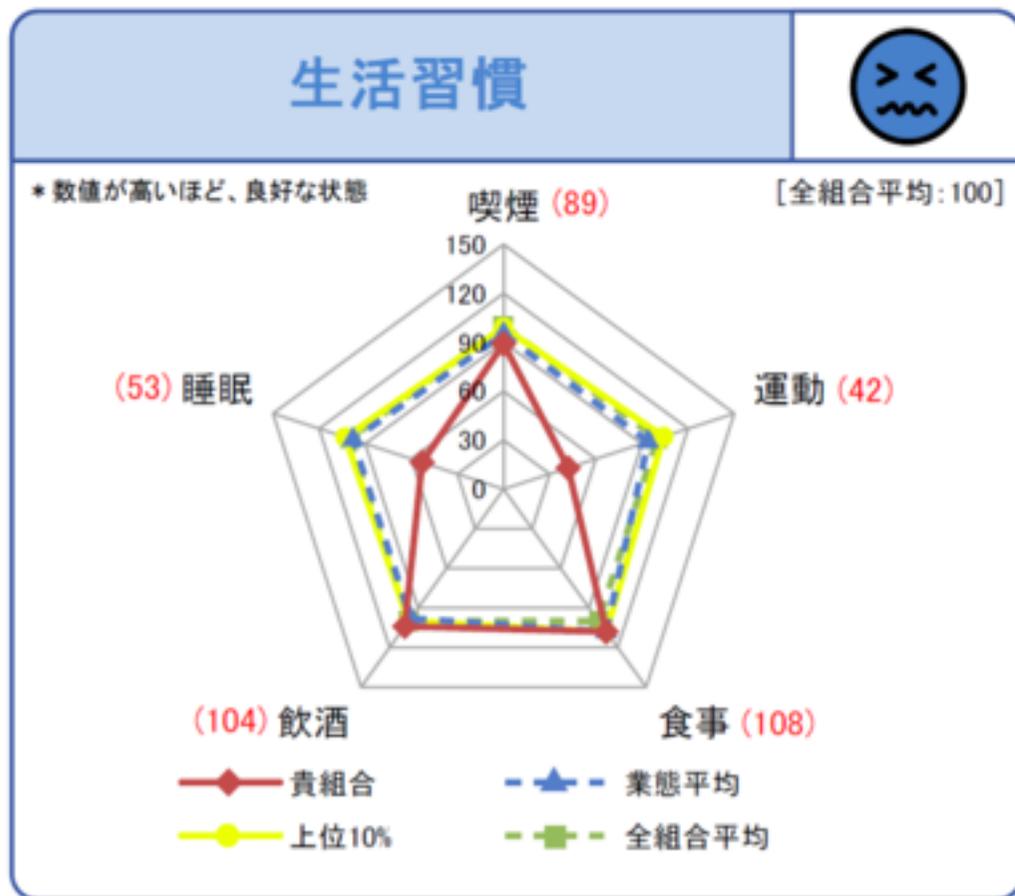
## 【貴組合の健康状況】生活習慣病リスク保有者の割合



リスク	良好	中央値と同程度			不良
肥満リスク					
血圧リスク					
肝機能リスク					
脂質リスク					
血糖リスク					

※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。

## 【貴組合の生活習慣】適正な生活習慣を有する者の割合



リスク	良好 ←	中央値と 同程度			→ 不良	ランクUPまで (*1)
喫煙習慣 リスク						あと1人
運動習慣 リスク						あと5人
食事習慣 リスク						あと1人
飲酒習慣 リスク						最上位です
睡眠習慣 リスク						あと11人

※ 2021年度に特定健診を受診した者のみのデータを集計。  
 ※ 生活習慣データについては、一部任意項目であるため、保険者が保有しているデータのみで構成。  
 ※ 上位10%は業態ごとの「総合スコア」上位10%の平均値を表す。ただし、業態内の組合数が20以下の場合、全組合の「総合スコア」上位10%の平均値を表示。

(\*1) “ランクUP”は、5段階評価のランクを1つ上げるための目安  
 (リスク対象者を減らす人数) を記載

## STEP 2 健康課題の抽出

No.	STEP1 対応項目	基本分析による現状把握から見える主な健康課題		対策の方向性	優先すべき 課題
1	ア	特定健診受診率の低下	➔	被保険者は会社健診が主なため、受診率90%以上を推移しているが、被扶養者の受診率が、コロナ過以降受診控えにより低迷している。1年に1度の健診をアナウンスし、全体の受診率90%を目指す。	✓
2	カ	特定保健指導実施	➔	近年、特定保健指導を正しく実施していない。対象者に受診案内をする計画がなされていなかったため、新たに外部業者と契約した。事業所とコラボヘルスを締結し、就業時間内に実施できる環境を整える。受診率60%を目指す。	✓
3	ウ, エ, キ, ク	疾病予防、重症化予防	➔	疾病予防、重症化予防、健康維持、加入者自身が健康状態を把握し、改善に努められるようサポートする。	✓
4	イ, オ	医療費削減	➔	中長期的に効果が出るような仕組みを検討。ジェネリック医薬品推進や常備薬推進などを行う。	✓

## 基本情報

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	医療専門職の不在	➔	医学的な知識が必要な場合、委託事業者の活用を検討
2	45歳以上の加入者が多い	➔	将来的な医療費の上昇に備え、中長期的に効果の出る仕組みを検討する

## 保健事業の実施状況

No.	特徴		対策検討時に留意すべき点
1	被扶養者の特定健診受診率が被保険者に比べて低い	➔	受診勧奨を文書にて実施する。 インセンティブを検討。

## STEP 3 保健事業の実施計画

### 事業全体の目的

特定健診、特定保健指導の受診勧奨を徹底する。  
生活習慣病予防、重症化予防に努め、医療費の削減を目指す。健診結果から適切な指導、アドバイスを行う。

### 事業全体の目標

特定健診、特定保健指導受診率目標達成。  
医療費の削減。

### 事業の一覧

#### 職場環境の整備

特定健康診査事業	40歳以上 健康診断結果データ授受（事業主とコラボヘルス）
疾病予防	生活習慣予防検診
予算措置なし	ラジオ体操
予算措置なし	定期健康診査
予算措置なし	40歳未満 健康診断結果授受（事業主とコラボヘルス）

#### 加入者への意識づけ

保健指導宣伝	医療費通知
保健指導宣伝	ジェネリック医薬品利用促進
保健指導宣伝	受診勧奨
予算措置なし	運動習慣改善 環境整備

#### 個別の事業

特定健康診査事業	被扶養者 特定健康診査
特定保健指導事業	被保険者 特定保健指導（事業主とコラボヘルス）
特定保健指導事業	被扶養者 特定保健指導
特定保健指導事業	共同設置保健師による疾病予防と健康教育
疾病予防	人間ドック（事業主とコラボヘルス）
疾病予防	インフルエンザ予防（事業主とコラボヘルス）
疾病予防	家庭救急常備薬
予算措置なし	健診情報随時提出

※事業は予算科目順に並び替えて表示されています。

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連													
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画																		
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度											
アウトプット指標												アウトカム指標																			
職場環境の整備																															
特定健康診断事業	1,3	既存	40歳以上 健康診断結果データ授受(事業主とコラボヘルス)	全て	男女	40～74	基準該当者	3	ケ	実施期間：7月～3月	ア,カ	定期健康診断(被保険者)	2	-	-	-	-	健康状態の把握	特定健診受診率の低下												
													会社健診結果の特定健診項目部分をXMLデータで授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果の特定健診項目部分をXMLデータで授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果の特定健診項目部分をXMLデータで授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果の特定健診項目部分をXMLデータで授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果の特定健診項目部分をXMLデータで授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果の特定健診項目部分をXMLデータで授受する。事業所契約の外部業者と契約。	健康状態の把握	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)											
													受診動向【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)会社健診データを授受する。その結果未受診の方を把握し、人間ドックを受診するようにアナウンスする。												受診人数【実績値】48人 【目標値】令和6年度：50人 令和7年度：35人 令和8年度：35人 令和9年度：35人 令和10年度：35人 令和11年度：35人)-						
													特定健診実施率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												生活習慣リスク保有者率【実績値】- 【目標値】令和6年度：30% 令和7年度：30% 令和8年度：30% 令和9年度：30% 令和10年度：30% 令和11年度：30%)-						
												内臓脂肪症候群該当者割合【実績値】- 【目標値】令和6年度：20% 令和7年度：20% 令和8年度：20% 令和9年度：20% 令和10年度：20% 令和11年度：20%)-																			
疾病予防	1,3,4	既存	生活習慣予防検診	全て	男女	30～74	基準該当者	2	イ,ウ,ケ	会社で行う定期健診と同日に本人がオプションで選んで検査ができる。	ア	会社定期健診業者と契約を結び、補助金を払い、結果を拝受する。	-	-	-	-	-	疾病予防、重症化予防													
													事業所とコラボヘルスで加入者がオプションで受けられるようにしている。生活習慣病予防として補助金を支給。	事業所とコラボヘルスで加入者がオプションで受けられるようにしている。生活習慣病予防として補助金を支給。	事業所とコラボヘルスで加入者がオプションで受けられるようにしている。生活習慣病予防として補助金を支給。	事業所とコラボヘルスで加入者がオプションで受けられるようにしている。生活習慣病予防として補助金を支給。	事業所とコラボヘルスで加入者がオプションで受けられるようにしている。生活習慣病予防として補助金を支給。	事業所とコラボヘルスで加入者がオプションで受けられるようにしている。生活習慣病予防として補助金を支給。	病気の早期発見	医療費削減											
受診案内【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)定期健診申込時にご案内												受診人数【実績値】35人 【目標値】令和6年度：40人 令和7年度：40人 令和8年度：40人 令和9年度：40人 令和10年度：40人 令和11年度：40人)生活習慣病予防として、積極的に受診勧奨																			
予算措置なし	1,2,5	既存	ラジオ体操	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ	毎日、朝8：25～・昼12：55～実施	ア	事業主が主体で保健事業の一部として実施	0	0	0	0	0	疾病予防、重症化予防													
													毎日、朝8：25～・昼12：55～実施 怪我防止、健康維持、口コモティブシンドローム対策	毎日、朝8：25～・昼12：55～実施 怪我防止、健康維持、口コモティブシンドローム対策	毎日、朝8：25～・昼12：55～実施 怪我防止、健康維持、口コモティブシンドローム対策	毎日、朝8：25～・昼12：55～実施 怪我防止、健康維持、口コモティブシンドローム対策	毎日、朝8：25～・昼12：55～実施 怪我防止、健康維持、口コモティブシンドローム対策	毎日、朝8：25～・昼12：55～実施 怪我防止、健康維持、口コモティブシンドローム対策	朝、昼の2回企業全体で行い、怪我防止や口コモティブシンドローム対策をし、コラボヘルス健康経営を実施。医療費削減を目指す。	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)											
実施回数【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)1日2回、必ず実施												参加率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)全員参加																			
1,2,3	既存(法定)	定期健康診査	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ	実施期間：7月～3月	ア	事業所が実施	-	-	-	-	-	健康状態の把握	疾病予防、重症化予防													
												事業所が実施する。1年に1回は、定期健診か健保の事業である人間ドックを受診する。	事業所が実施する。1年に1回は、定期健診か健保の事業である人間ドックを受診する。	事業所が実施する。1年に1回は、定期健診か健保の事業である人間ドックを受診する。	事業所が実施する。1年に1回は、定期健診か健保の事業である人間ドックを受診する。	事業所が実施する。1年に1回は、定期健診か健保の事業である人間ドックを受診する。	事業所が実施する。1年に1回は、定期健診か健保の事業である人間ドックを受診する。	健康状態の把握	医療費削減												
												年間受診回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)1年に1回は、定期健診か人間ドックを受診する												未受診者【実績値】0人 【目標値】令和6年度：0人 令和7年度：0人 令和8年度：0人 令和9年度：0人 令和10年度：0人 令和11年度：0人)-							
1,2	新規	40歳未満 健康診断結果授受(事業主とコラボヘルス)	全て	男女	18～39	被保険者,基準該当者	3	ケ	実施期間：7月～3月	ア,カ	定期健康診断(被保険者)	-	-	-	-	-	健康状態の把握	疾病予防、重症化予防													
												会社健診結果を授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果を授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果を授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果を授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果を授受する。事業所契約の外部業者と契約。	会社健診結果を授受する。事業所契約の外部業者と契約。	定期健診の結果を授受し、健康状態を把握する。	医療費削減												
受診回数【実績値】1回 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)定期健診を必ず受診してもらう。												結果授受率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)健診機関																			

加入者への意識づけ

保健指導宣伝	2	既存	医療費通知	全て	男女	0～74	加入者全員	1	ス	6か月に1度 対象者全員に配布する。	シ	世帯ごとに印刷し、被保険者に配布する。	-	-	-	-	-	医療費削減
													医療費適正化を目指して、加入者の医療機関受診状況を把握してもらう。	医療費適正化を目指して、加入者の医療機関受診状況を把握してもらう。	医療費適正化を目指して、加入者の医療機関受診状況を把握してもらう。	医療費適正化を目指して、加入者の医療機関受診状況を把握してもらう。	医療費適正化を目指して、加入者の医療機関受診状況を把握してもらう。	医療費適正化を目指して、加入者の医療機関受診状況を把握してもらう。
医療費通知【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)退職者にも配る												受診状況の確認・医療費適正化が目的であるためアウトカム指標は設定していない。(アウトカムは設定されていません)						
2,5,7	既存	ジェネリック医薬品利用促進	全て	男女	0～74	加入者全員	1	キ	毎8月にジェネリック医薬品効果金額を作成、配布	シ	被保険者に配布	-	-	-	-	-	医療費削減	
												1年間の調剤費をジェネリック医薬品に切り替えた場合の窓口負担削減額を通知。またジェネリックシールを配布する。	1年間の調剤費をジェネリック医薬品に切り替えた場合の窓口負担削減額を通知。またジェネリックシールを配布する。	1年間の調剤費をジェネリック医薬品に切り替えた場合の窓口負担削減額を通知。またジェネリックシールを配布する。	1年間の調剤費をジェネリック医薬品に切り替えた場合の窓口負担削減額を通知。またジェネリックシールを配布する。	1年間の調剤費をジェネリック医薬品に切り替えた場合の窓口負担削減額を通知。またジェネリックシールを配布する。	1年間の調剤費をジェネリック医薬品に切り替えた場合の窓口負担削減額を通知。またジェネリックシールを配布する。	医療費削減

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連	
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画						
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度
アウトプット指標												アウトカム指標							
発行回数【実績値】2回 【目標値】令和6年度：2回 令和7年度：2回 令和8年度：2回 令和9年度：2回 令和10年度：2回 令和11年度：2回)マイナ保険証に完全に移行した場合はジェネリックシールの配布は意味がないので、ジェネリックカードにするか検討する。												切替率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：50% 令和7年度：50% 令和8年度：50% 令和9年度：50% 令和10年度：50% 令和11年度：50%)ジェネリック医薬品に切り替え、金銭的に費用対効果を算出する。							
2,3,4	新規	受診勧奨	全て	男女	0～74	基準該当者	1	イ	特定健康診査、特定保健指導、インフルエンザ予防接種を受診していない加入者へ積極的に受診勧奨をする ご案内を作成	ア,ウ	被保険者へ積極的にご案内	特定健診、特定保健指導未受診者へ12月に受診勧奨を行う	特定健診、特定保健指導未受診者へ12月に受診勧奨を行う	特定健診、特定保健指導未受診者へ12月に受診勧奨を行う	特定健診、特定保健指導未受診者へ12月に受診勧奨を行う	特定健診、特定保健指導未受診者へ12月に受診勧奨を行う	特定健診、特定保健指導未受診者へ12月に受診勧奨を行う	受診率向上	特定健診受診率の低下 特定保健指導実施 疾病予防、重症化予防 医療費削減
受診勧奨ご案内率【実績値】100% 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-												受診勧奨後受診率【実績値】20% 【目標値】令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)-							
2,5	新規	運動習慣改善環境整備	全て	男女	15～74	加入者全員	1	ス	chocoZAPの法人レギュラー会員となり、入会初期費用が無料となる。	シ	RIZAP株式会社と契約加入者にパンフレット周知	スポーツジムchocoZAPの法人レギュラー会員となり、運動習慣改善、健康維持に役立つよう、環境を整備	スポーツジムchocoZAPの法人レギュラー会員となり、運動習慣改善、健康維持に役立つよう、環境を整備	スポーツジムchocoZAPの法人レギュラー会員となり、運動習慣改善、健康維持に役立つよう、環境を整備	スポーツジムchocoZAPの法人レギュラー会員となり、運動習慣改善、健康維持に役立つよう、環境を整備	スポーツジムchocoZAPの法人レギュラー会員となり、運動習慣改善、健康維持に役立つよう、環境を整備	スポーツジムchocoZAPの法人レギュラー会員となり、運動習慣改善、健康維持に役立つよう、環境を整備	生活習慣病予防、運動習慣改善	疾病予防、重症化予防 医療費削減
加入率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)法人レギュラー会員で加入												運動習慣改善【実績値】 - 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)運動習慣率改善							

個別の事業

2,3,4	既存(法定)	被扶養者 特定健康診査	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	1	ス	無料で受診可能な受診券を配布	キ,ク	健保連と契約し、集合契約A、Bで受診可能としている	被扶養者、任意継続被保険者を対象に受診券を配布。全額補助。受診率60%を目指す。	被扶養者、任意継続被保険者を対象に受診券を配布。全額補助。受診率60%を目指す。	被扶養者、任意継続被保険者を対象に受診券を配布。全額補助。受診率60%を目指す。	被扶養者、任意継続被保険者を対象に受診券を配布。全額補助。受診率60%を目指す。	被扶養者、任意継続被保険者を対象に受診券を配布。全額補助。受診率60%を目指す。	被扶養者、任意継続被保険者を対象に受診券を配布。全額補助。受診率60%を目指す。	健康状態を把握する。	特定健診受診率の低下 疾病予防、重症化予防 医療費削減 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
特定健診実施率【実績値】30% 【目標値】令和6年度：61.5% 令和7年度：64.3% 令和8年度：64.3% 令和9年度：64.3% 令和10年度：68.8% 令和11年度：68.8%)-												生活習慣リスク保有者率【実績値】0% 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)-							
-												内臓脂肪症候群該当者割合【実績値】0% 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)-							

1,2,4,5	既存(法定)	被保険者 特定保健指導(事業主とコラボヘルス)	全て	男女	40～74	被保険者,基準該当者	1	オ,キ,ケ,サ	健診結果から対象者の抽出を行う。	ア,ク	千葉連合会共同事業に参加し、外部委託業者と契約。	事業主とコラボヘルスを結んでおり、就業時間内に実施できるようにしている。連合会とは別に外部委託業者と契約を結ぶ。受診率60%を目指す。	事業主とコラボヘルスを結んでおり、就業時間内に実施できるようにしている。連合会とは別に外部委託業者と契約を結ぶ。受診率60%を目指す。	事業主とコラボヘルスを結んでおり、就業時間内に実施できるようにしている。連合会とは別に外部委託業者と契約を結ぶ。受診率60%を目指す。	事業主とコラボヘルスを結んでおり、就業時間内に実施できるようにしている。連合会とは別に外部委託業者と契約を結ぶ。受診率60%を目指す。	事業主とコラボヘルスを結んでおり、就業時間内に実施できるようにしている。連合会とは別に外部委託業者と契約を結ぶ。受診率60%を目指す。	事業主とコラボヘルスを結んでおり、就業時間内に実施できるようにしている。連合会とは別に外部委託業者と契約を結ぶ。受診率60%を目指す。	受診率60%を目指す。	特定保健指導実施 疾病予防、重症化予防 医療費削減 該当なし（これまでの経緯等で実施する事業）
特定保健指導実施率【実績値】60% 【目標値】令和6年度：62.5% 令和7年度：62.5% 令和8年度：62.5% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)特定保健指導実施率は60%目標設定												特定保健指導対象者割合【実績値】17% 【目標値】令和6年度：15% 令和7年度：15% 令和8年度：15% 令和9年度：15% 令和10年度：15% 令和11年度：15%)-							
-												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：10% 令和7年度：10% 令和8年度：10% 令和9年度：10% 令和10年度：10% 令和11年度：10%)-							
-												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-							
2,4	既存	被扶養者 特定保健指導	全て	男女	40～74	被扶養者,任意継続者	1	エ,オ	ICTを利用して実施	ウ	外部委託業者と契約し、スマホアプリ等で積極的に受診してもらう。	外部委託業者と契約を結び、受診率60%を目指す。	外部委託業者と契約を結び、受診率60%を目指す。	外部委託業者と契約を結び、受診率60%を目指す。	外部委託業者と契約を結び、受診率60%を目指す。	外部委託業者と契約を結び、受診率60%を目指す。	外部委託業者と契約を結び、受診率60%を目指す。	メタボリックシンドローム該当者の減少	特定保健指導実施 疾病予防、重症化予防 医療費削減
受診案内【実績値】 - 【目標値】令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)被保険者を通じて、ご案内												実施率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：62.5% 令和7年度：62.5% 令和8年度：62.5% 令和9年度：60% 令和10年度：60% 令和11年度：60%)-							
-												特定保健指導対象者割合【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)-							
-												特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率【実績値】 - 【目標値】令和6年度：0% 令和7年度：0% 令和8年度：0% 令和9年度：0% 令和10年度：0% 令和11年度：0%)-							
-												腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合【実績値】 - 【目標値】令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)-							

2,4,5,6	新規	共同設置保健師による疾病予防と健康教育	全て	男女	18～74	加入者全員,基準該当者	1	イ,ウ,オ	健診結果から医療機関へ受診したか確認、また疾病予防のための健康指導を行う。	イ,ウ,ケ	千葉連合会共同事業に参加し、保健師を派遣してもらう	千葉連合会共同事業に参加し、加入者全員の検査結果を精査し、医療機関に受診したか確認、また疾病予防のための健康指導を行う。	千葉連合会共同事業に参加し、加入者全員の検査結果を精査し、医療機関に受診したか確認、また疾病予防のための健康指導を行う。	千葉連合会共同事業に参加し、加入者全員の検査結果を精査し、医療機関に受診したか確認、また疾病予防のための健康指導を行う。	千葉連合会共同事業に参加し、加入者全員の検査結果を精査し、医療機関に受診したか確認、また疾病予防のための健康指導を行う。	千葉連合会共同事業に参加し、加入者全員の検査結果を精査し、医療機関に受診したか確認、また疾病予防のための健康指導を行う。	千葉連合会共同事業に参加し、加入者全員の検査結果を精査し、医療機関に受診したか確認、また疾病予防のための健康指導を行う。	疾病予防、医療費削減、健康教育体制整備	疾病予防、重症化予防 医療費削減
---------	----	---------------------	----	----	-------	-------------	---	-------	---------------------------------------	-------	---------------------------	--	--	--	--	--	--	---------------------	---------------------

予算科目	注1) 事業分類	新規既存	事業名	対象者			注2) 実施主体	注3) プロセス分類	実施方法	注4) ストラクチャー分類	実施体制	予算額(千円)					事業目標	健康課題との関連						
				対象事業所	性別	年齢						対象者	実施計画											
													令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度			令和10年度	令和11年度				
アウトプット指標												アウトカム指標												
健康教育人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)健診結果から被保険者はもちろん、被扶養者にも健康アドバイスをする。												返信人数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)健康アドバイスや健診後の受診勧奨が行われている方にお手紙を出し、行った結果を返信してもらう。												
疾病予防	3	既存	人間ドック(事業主とコラボヘルス)	全て	男女	35～74	基準該当者	1	イ,ウ,オ	カ	医療機関と契約を結び、ドック受診時の窓口負担を軽減する。基本料金の30%以外は健保が補助金を支給する。健診結果から特定健診項目はXMLデータで拝受する。	特定健診受診率90%を目指して、被扶養者にも受診してもらえるように、ご案内する。	特定健診受診率90%を目指して、被扶養者にも受診してもらえるように、ご案内する。	特定健診受診率90%を目指して、被扶養者にも受診してもらえるように、ご案内する。	特定健診受診率90%を目指して、被扶養者にも受診してもらえるように、ご案内する。	特定健診受診率90%を目指して、被扶養者にも受診してもらえるように、ご案内する。	特定健診受診率90%を目指して、被扶養者にも受診してもらえるように、ご案内する。	病気の早期発見	特定健診受診率の低下					
																			疾病予防、重症化予防					
																			医療費削減					
受診案内(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)事業所案内。定期健診か人間ドックどちらか選択												受診人数(【実績値】 13人 【目標値】 令和6年度：13人 令和7年度：13人 令和8年度：13人 令和9年度：13人 令和10年度：13人 令和11年度：13人)事業所と連携して、被保険者の未受診者を把握。												
1,8	既存	インフルエンザ予防(事業主とコラボヘルス)	全て	男女	0～74	加入者全員	2	ケ	ア,カ	事業所が会社内でインフルエンザ予防接種を実施	被保険者、被扶養者ともに補助金を支給する。事業所内接種は全額。その他医療機関で受診の場合は被保険者3,000円、被扶養者1,500円を上限にする。	被保険者、被扶養者ともに補助金を支給する。事業所内接種は全額。その他医療機関で受診の場合は被保険者3,000円、被扶養者1,500円を上限にする。	被保険者、被扶養者ともに補助金を支給する。事業所内接種は全額。その他医療機関で受診の場合は被保険者3,000円、被扶養者1,500円を上限にする。	被保険者、被扶養者ともに補助金を支給する。事業所内接種は全額。その他医療機関で受診の場合は被保険者3,000円、被扶養者1,500円を上限にする。	被保険者、被扶養者ともに補助金を支給する。事業所内接種は全額。その他医療機関で受診の場合は被保険者3,000円、被扶養者1,500円を上限にする。	被保険者、被扶養者ともに補助金を支給する。事業所内接種は全額。その他医療機関で受診の場合は被保険者3,000円、被扶養者1,500円を上限にする。	被保険者、被扶養者ともに補助金を支給する。事業所内接種は全額。その他医療機関で受診の場合は被保険者3,000円、被扶養者1,500円を上限にする。	インフルエンザ予防	疾病予防、重症化予防					
																	医療費削減							
																	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)							
事業案内(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)事業所が年に1度周知、受付。												受診人数(【実績値】 28人 【目標値】 令和6年度：50人 令和7年度：50人 令和8年度：50人 令和9年度：50人 令和10年度：50人 令和11年度：50人)事業所委託業者と契約を結ぶ。その他は全体集会でご案内、受付。												
5	既存	家庭救急常備薬	全て	男女	18～74	被保険者	2	ケ	シ	外部委託業者と契約を結び、パンフレットや薬の発送を依頼	医療費削減と疾病予防のため、家庭常備薬の購入とりまとめを行う。3,000円を上限に補助する。セルフメディケーション制度の推進。	医療費削減と疾病予防のため、家庭常備薬の購入とりまとめを行う。3,000円を上限に補助する。セルフメディケーション制度の推進。	医療費削減と疾病予防のため、家庭常備薬の購入とりまとめを行う。3,000円を上限に補助する。セルフメディケーション制度の推進。	医療費削減と疾病予防のため、家庭常備薬の購入とりまとめを行う。3,000円を上限に補助する。セルフメディケーション制度の推進。	医療費削減と疾病予防のため、家庭常備薬の購入とりまとめを行う。3,000円を上限に補助する。セルフメディケーション制度の推進。	医療費削減と疾病予防のため、家庭常備薬の購入とりまとめを行う。3,000円を上限に補助する。セルフメディケーション制度の推進。	医療費削減と疾病予防のため、家庭常備薬の購入とりまとめを行う。3,000円を上限に補助する。セルフメディケーション制度の推進。	医療費削減、疾病予防、セルフメディケーション制度推進	医療費削減					
																	該当なし(これまでの経緯等で実施する事業)							
ご案内回数(【実績値】 1回 【目標値】 令和6年度：1回 令和7年度：1回 令和8年度：1回 令和9年度：1回 令和10年度：1回 令和11年度：1回)委託業者と契約を結び事業遂行。												購入人数割合(【実績値】 88% 【目標値】 令和6年度：90% 令和7年度：90% 令和8年度：90% 令和9年度：90% 令和10年度：90% 令和11年度：90%)セルフメディケーション制度の推進												
予算措置なし	2,8	新規	健診情報随時提出	全て	男女	18～74	被保険者	1	エ,ス	カ	事業所が委託している医療機関と契約健保システムで令和6年4月から対応	健診結果を随時登録し、ご自身がマイナポータルで健診結果の閲覧ができるようにする。	健診結果を随時登録し、ご自身がマイナポータルで健診結果の閲覧ができるようにする。	健診結果を随時登録し、ご自身がマイナポータルで健診結果の閲覧ができるようにする。	健診結果を随時登録し、ご自身がマイナポータルで健診結果の閲覧ができるようにする。	健診結果を随時登録し、ご自身がマイナポータルで健診結果の閲覧ができるようにする。	健診結果を随時登録し、ご自身がマイナポータルで健診結果の閲覧ができるようにする。	マイナ保険証一本化推進、健診結果把握	該当なし					
健診結果登録数(【実績値】 - 【目標値】 令和6年度：100% 令和7年度：100% 令和8年度：100% 令和9年度：100% 令和10年度：100% 令和11年度：100%)健保システムから支払基金に随時登録												マイナ保険者利用数(【実績値】 60% 【目標値】 令和6年度：80% 令和7年度：80% 令和8年度：80% 令和9年度：80% 令和10年度：80% 令和11年度：80%)マイナナンバーカードと保険証の紐づけ推進												

注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業  
 注2) 1. 健保組合 2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用 3. 健保組合と事業主との共同事業  
 注3) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認(要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況) ウ. 受診状況の確認(がん検診・歯科健診の受診状況) エ. ICTの活用 オ. 専門職による健診結果の説明 カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施  
 ク. 対象者の抽出(優先順位づけ、事業所の選定など) ケ. 参加の促進(選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備) コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可(事業主と合意) シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他  
 注4) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築 キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築  
 ケ. 保険者内の専門職の活用(共同設置保健師等を含む) コ. 運営マニュアルの整備(業務フローの整理) サ. 人材確保・教育(ケースカンファレンス/ライブラリーの設置) シ. その他